

## 人材育成と機械化

モノリスコーポレーション株式会社 / GM 亀井昭利

### ◆これからの新築物流倉庫建築の課題

少子化と高齢化で現場で働く人が年々減少している。

人材の確保に大きな比重がかかる中、建築業界は外国人実習生や若い人の就労獲得に最大限の努力をしている。しかしながら育成には長い時間と労力が必要である。適切な環境が整っていなかったことが人材育成不足の要因だ。

当社は職人育成研修所と大型倉庫、メンテナンスルームを整備することで更なる品質の向上につながると考えている。

高品質な床を追求するには、施工する作業員の技術の向上と機械化が急務とされていると感じている。

### 1. 機械化の導入

機械の導入は省力化において一番早い手段であるが、使用する作業員に知識と経験が不足していると効果は半減する。機械を導入しても適切に使用できなければ意味がない。特に手直しのきかないコンクリート仕上は施工手順が最も重要となる。

### 2. 研修会の実施

時間との勝負である生コンクリート工事の仕上を現場で作業員に細かく指示することは難しい。休日などを利用して施工研修会を頻繁に実施することで経験が少なくても即戦力として作業できる職人の育成を計る。

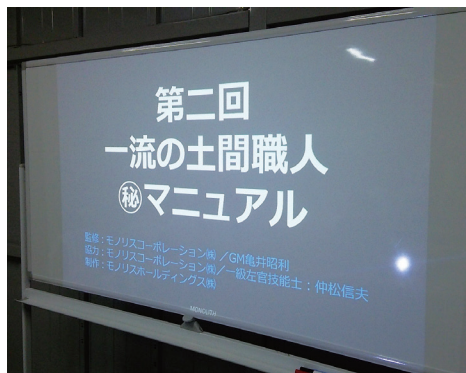
また、現場からの声を聴くことで新たな発見や改良にもつながる。多人数で仕上げる床工事は職人同士のコミュニケーションは必要不可欠である。

### 3. メンテナンス

機械は消耗する。特にコンクリートが付着すると劇的に耐久年数が短くなる。定期的にメンテナンスをしなければレベル精度の低下にも影響する。現場が終わる都度、小まめにメンテナンスをすることで機械の耐久年数を長くするとともに、精度の良いレベル管理を実現する。

### ◆おわりに

高品質な床づくりは適切な機械化と作業員教育だと考える。機械だけに頼りすぎるのも危険であるし、作業員の数だけ増やしてもよい



結果にはつながらない。

当社は作業員教育と最新の機械の導入、メンテナンス作業をルーティン化し、更なる高品質な物流倉庫床づくりを追求する。

問い合わせ先

モノリスコーポレーション株式会社

TEL.045-476-0611

<http://www.monolith-c.co.jp>